

「平成 27 年度 兵庫県内の市町財政の状況」



(1) 経常収支比率の状況

【資料 1】 平成 27 年度兵庫県内各市町の経常収支比率の状況<地図> 1

【資料 2】 経常収支比率の対前年度比較 2

(2) 実質公債費比率の状況

【資料 3】 平成 27 年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図> 3

【資料 4】 実質公債費比率の対前年度比較 4

(3) 将来負担比率の状況

【資料 5】 平成 27 年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図> 5

【資料 6】 将来負担比率の対前年度比較 6

(4) 税徴収率の状況

【資料 7】 平成 27 年度兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況<地図> 7

【資料 8】 徴収率（個人住民税）の対前年度比較 8

【資料 9】 平成 27 年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況<地図> 9

【資料 10】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較 10

【資料 11】 特別徴収実施率の対前年度比較 11

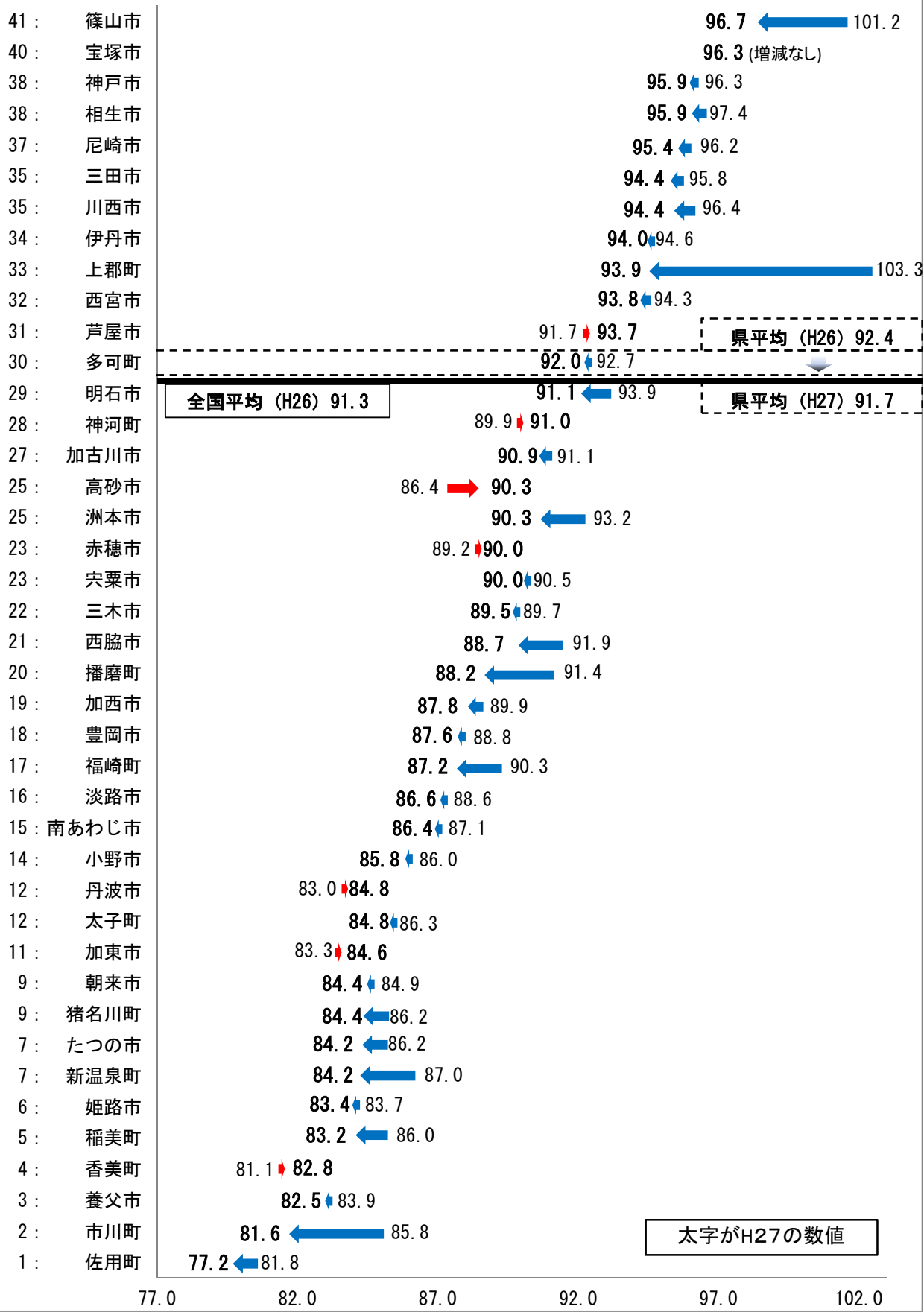
※ 参考

【参考資料①】 平成 27 年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図> 12

【参考資料②】 ラスパイレス指数の対前年度比較 13

経常収支比率の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは33団体、比率が増加したのは7団体、比率が変わらなかったのは1団体(宝塚市)
 ■最も減少したのは、市では篠山市(▲4.5%)、町では上郡町(▲9.4%)
 ■最も増加したのは、市では高砂市(3.9%)、町では香美町(1.7%)

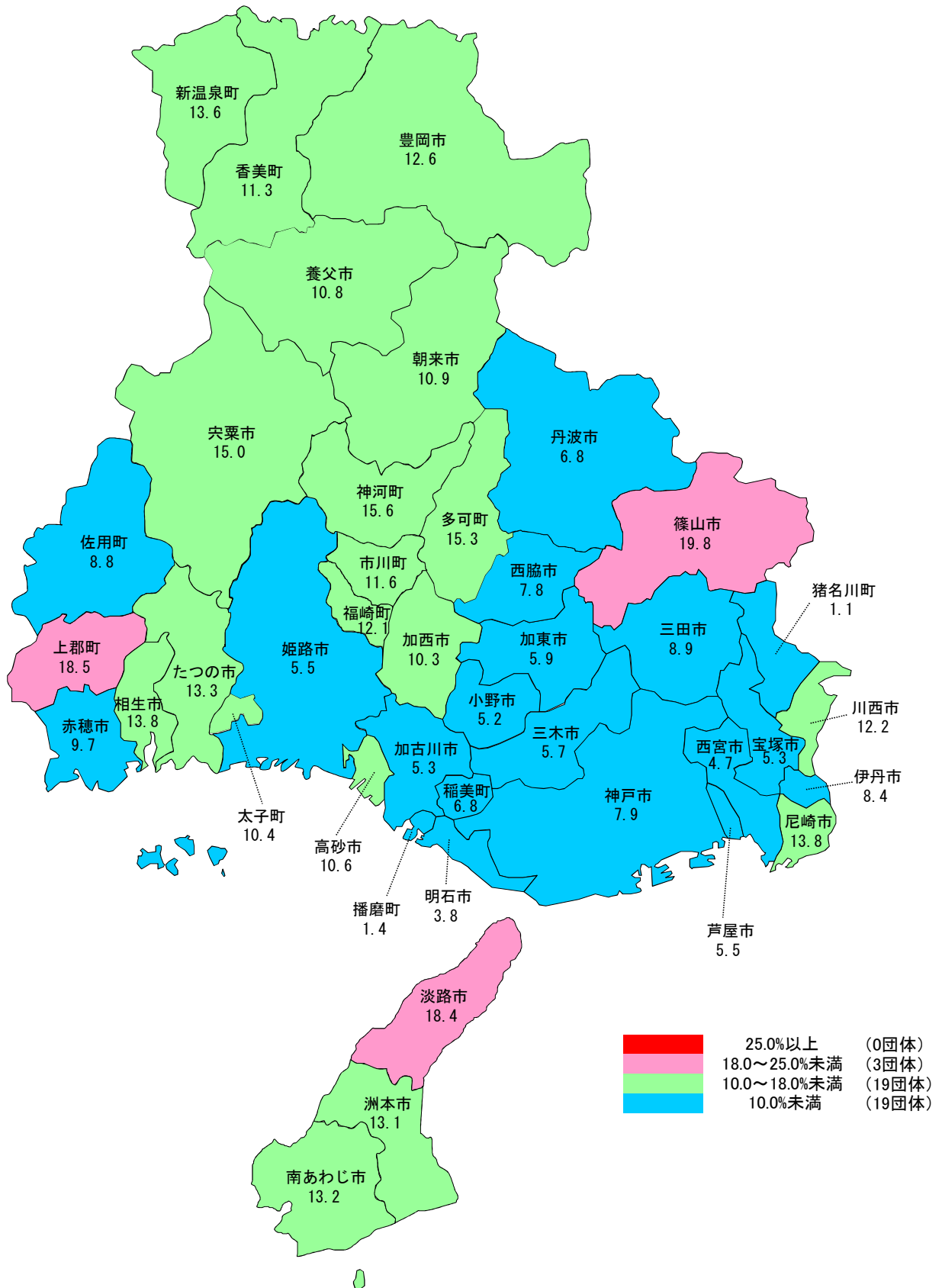


平成27年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

○平成27年度の実質公債費比率の県内市町平均は8.5%(H26全国平均は8.0%)。

○実質公債費比率が25%以上※1の団体はないが、18%以上※2の団体は、篠山市(19.8%)、上郡町(18.5%)、淡路市(18.4%)の3団体。

○実質公債費比率が18%未満※3の団体は、38市町となった。



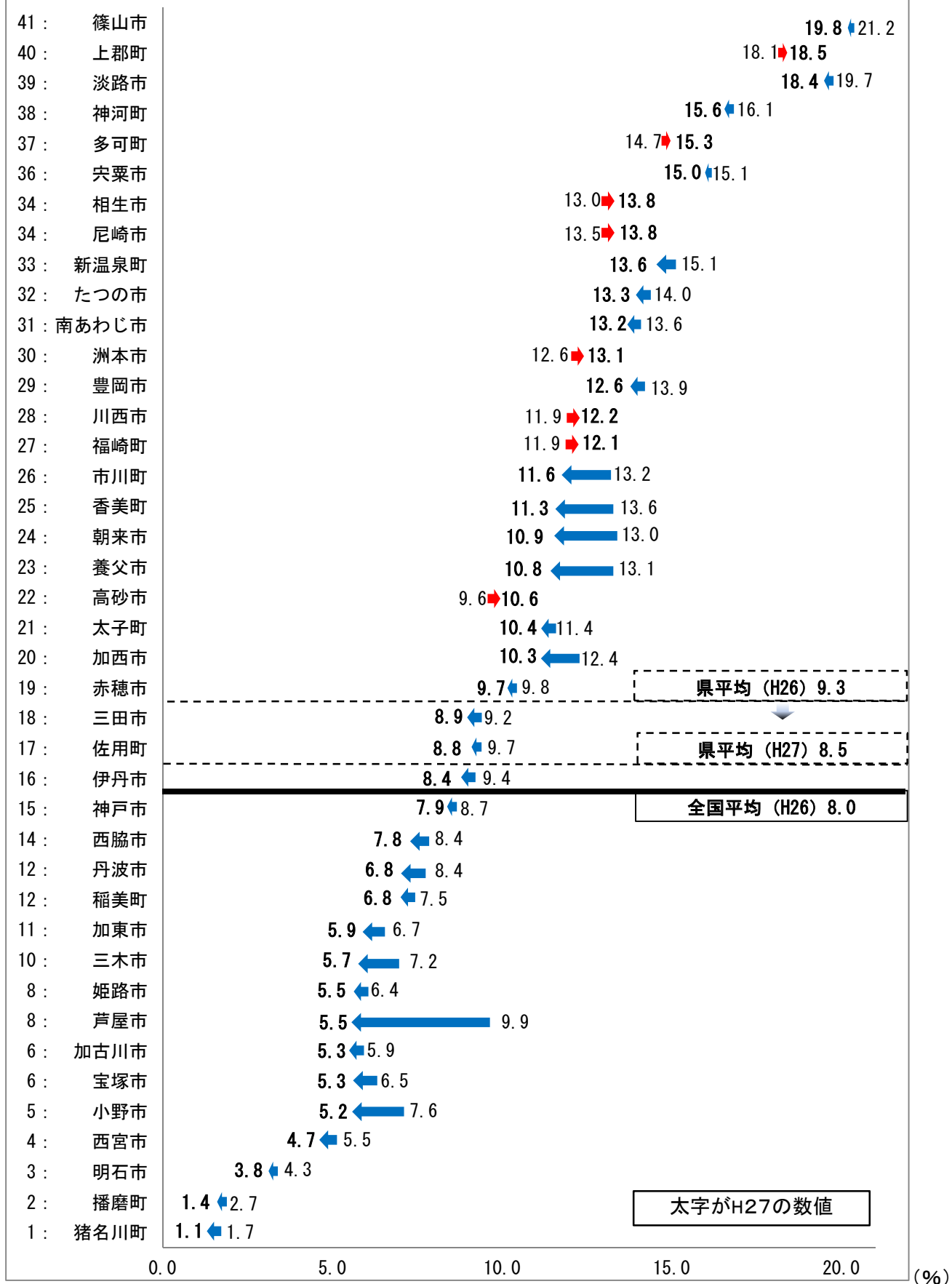
※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。

※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容および実施状況に応じ、起債が許可される。

※3 実質公債費比率が18%未満(実質赤字額・連結実質赤字比率が0、将来負担比率350%以下等)の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

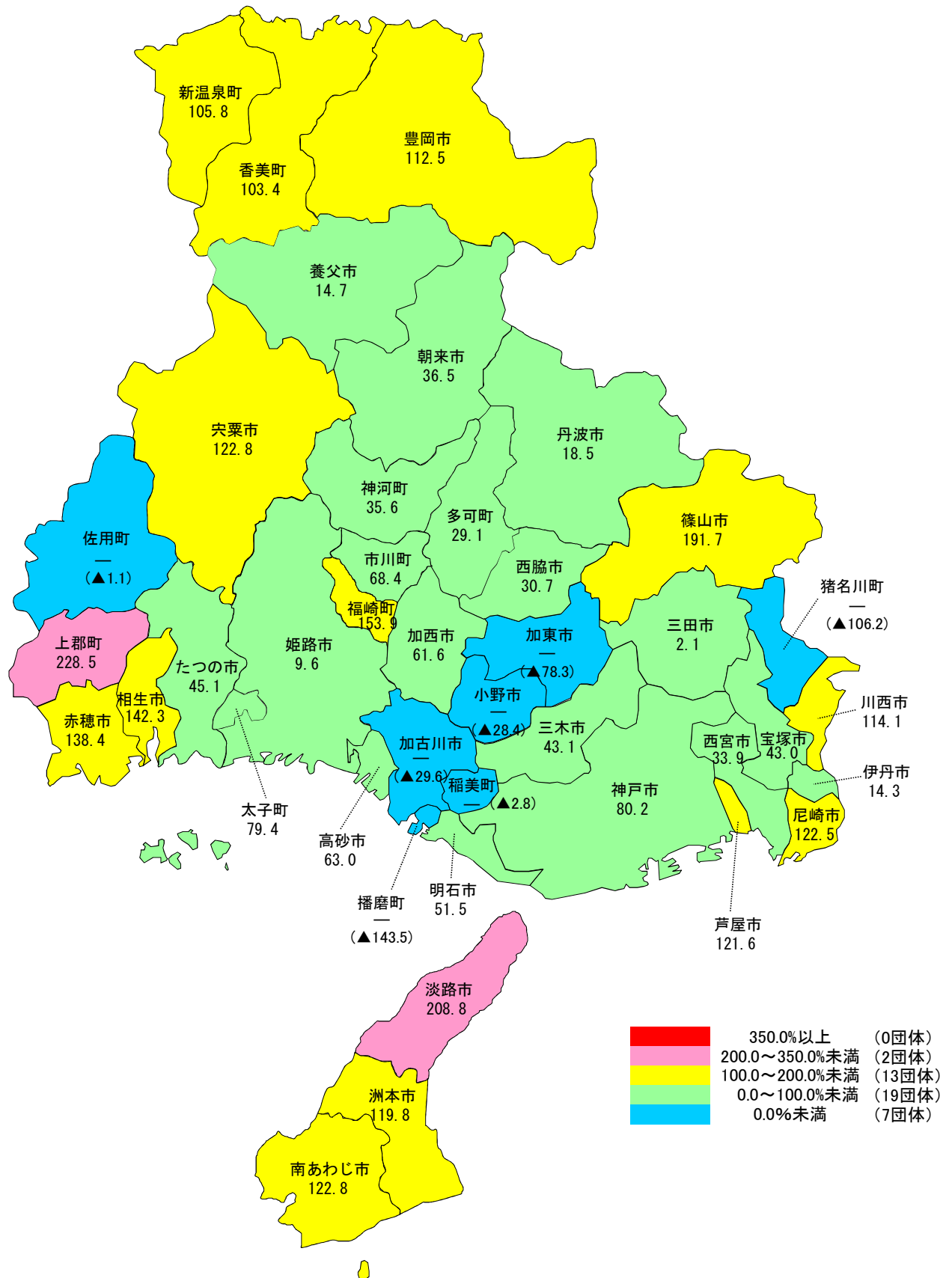
実質公債費比率の対前年度比較

- 前年度から比率が減少したのは33団体、比率が増加したのは8団体
- 最も減少したのは、市では芦屋市(▲4.4%)、町では香美町(▲2.3%)
- 最も増加したのは、市では高砂市(1.0%)、町では多可町(0.6%)



平成27年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

○平成27年度将来負担比率の県内市町平均は62.1%(H26全国平均は45.8%)。
 ○将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)※1の団体はない。200%を超える団体は、淡路市(208.8%)、上郡町(228.5%)の2市町。0.0%未満の団体は加東市、播磨町など7市町。

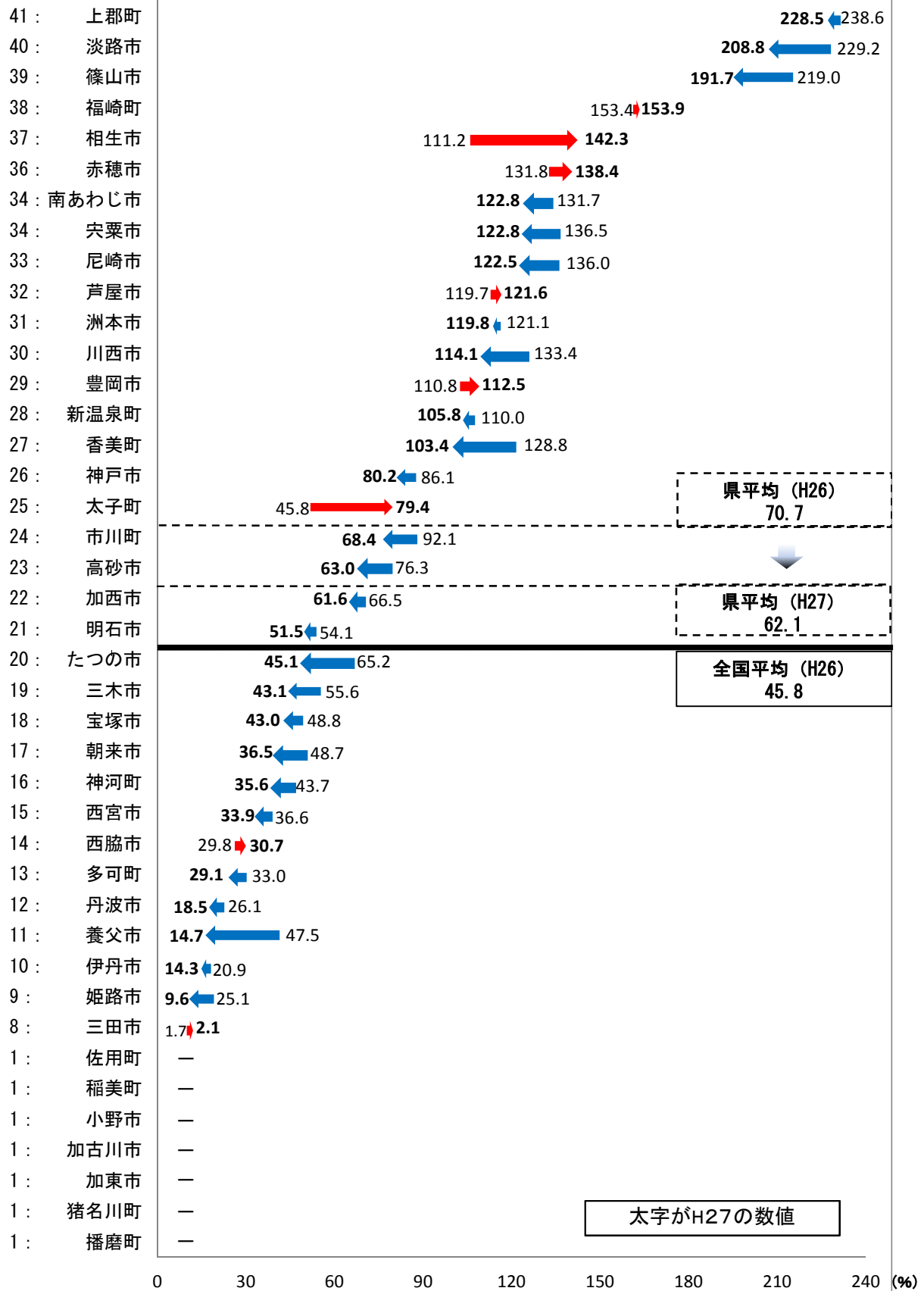


※1 将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。

※2 福崎町の将来負担比率については、9/29付で修正報告があったものを掲載しているため、9/30の総務省記者発表資料(速報値)と異なっている。

将来負担比率の対前年度比較

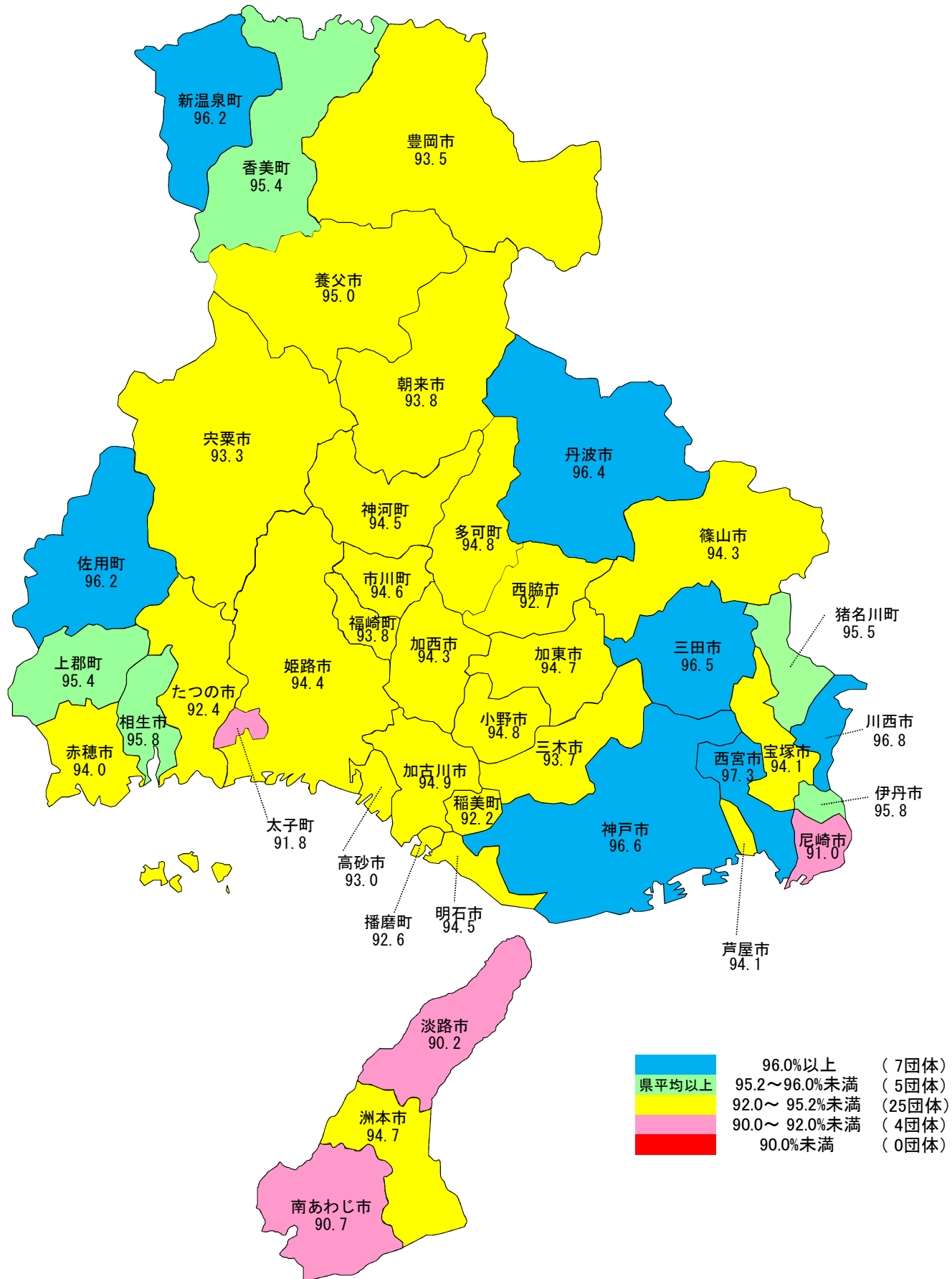
- 前年度から比率が減少したのは26団体、比率が増加したのは8団体
- 最も減少したのは、市では養父市(▲32.8%)、町では香美町(▲25.4%)
- 最も増加したのは、市では相生市(31.1%)、町では太子町(33.6%)



※福崎町の将来負担比率については、9/29付で修正報告があったものを掲載しているため、9/30の総務省記者発表資料(速報値)と異なっている。

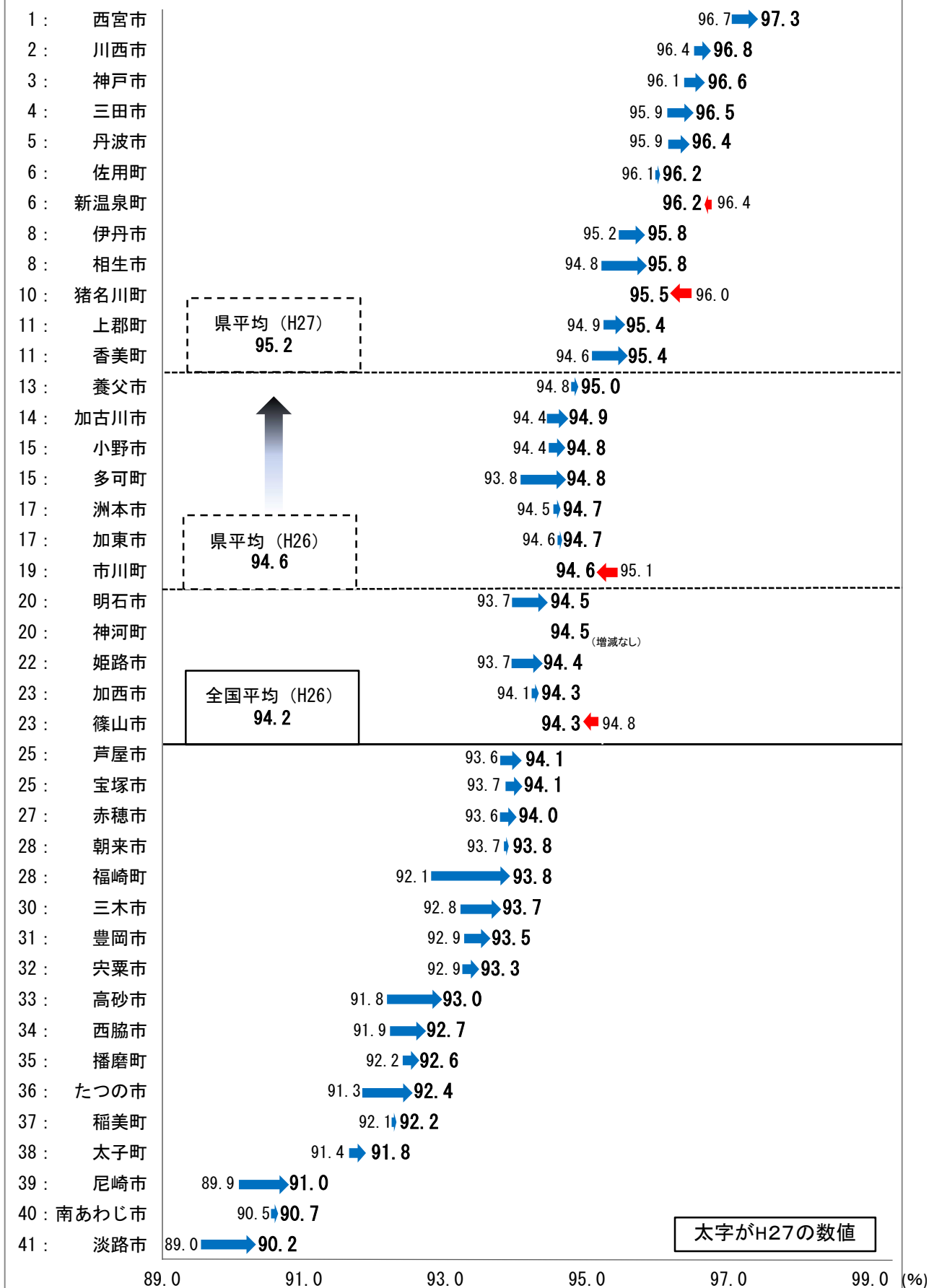
平成27年度兵庫県内各市町の徴収率(個人住民税)の状況

- 徴収率の県平均は95.2% (H26県平均94.6%)
- 県平均を超えているのは12団体(H26県平均を超えていたのは16団体)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(97.3%)、町では佐用町及び新温泉町(96.2%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では淡路市(90.2%)、町では太子町(91.8%)



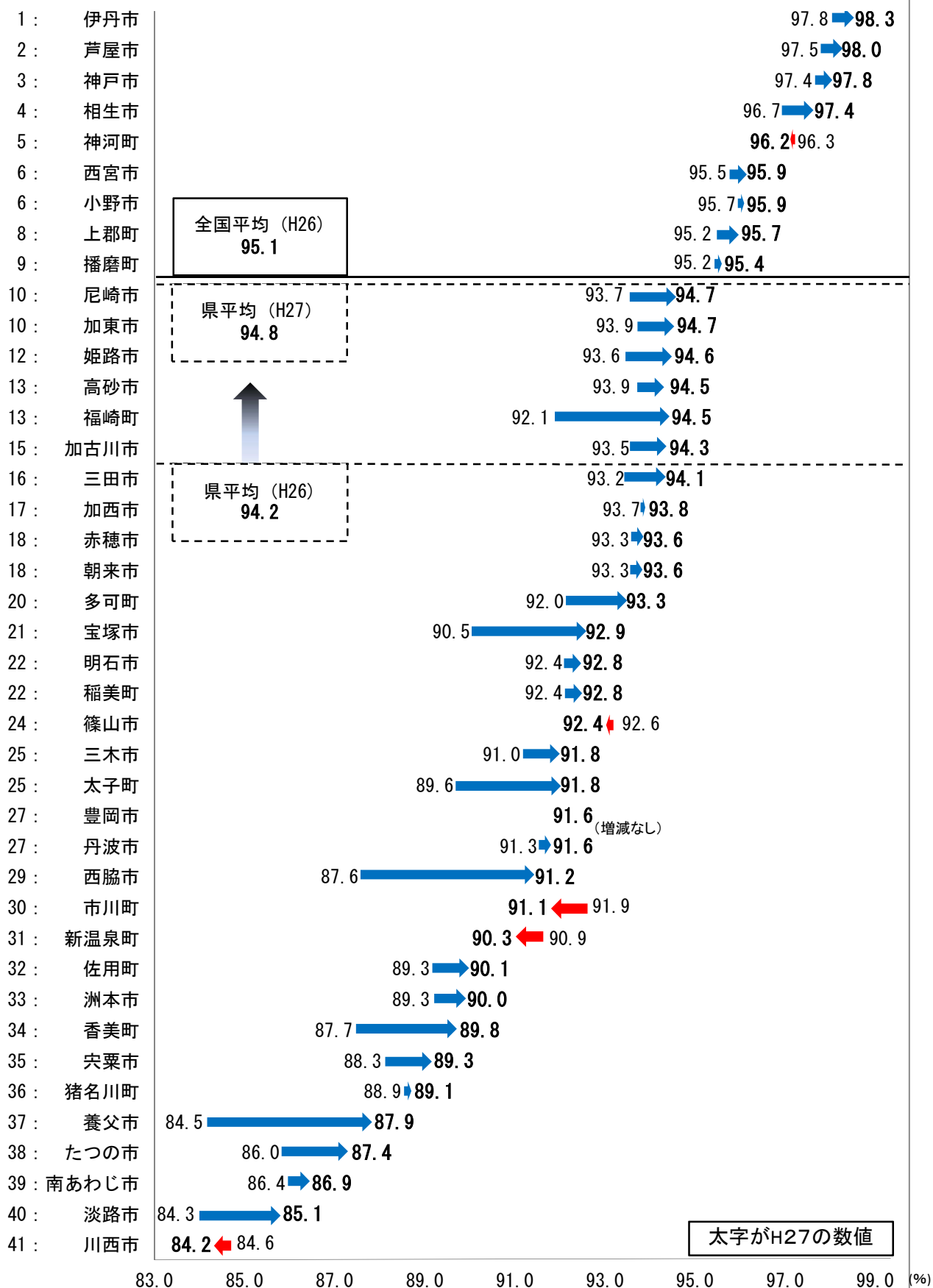
徴収率(個人住民税)の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは4団体、徴収率が増加したのは36団体。
 ■最も増加したのは福崎町(1.7%)、最も減少したのは篠山市及び猪名川町、市川町(それぞれ▲0.5%)。



徴収率(固定資産税)の対前年度比較

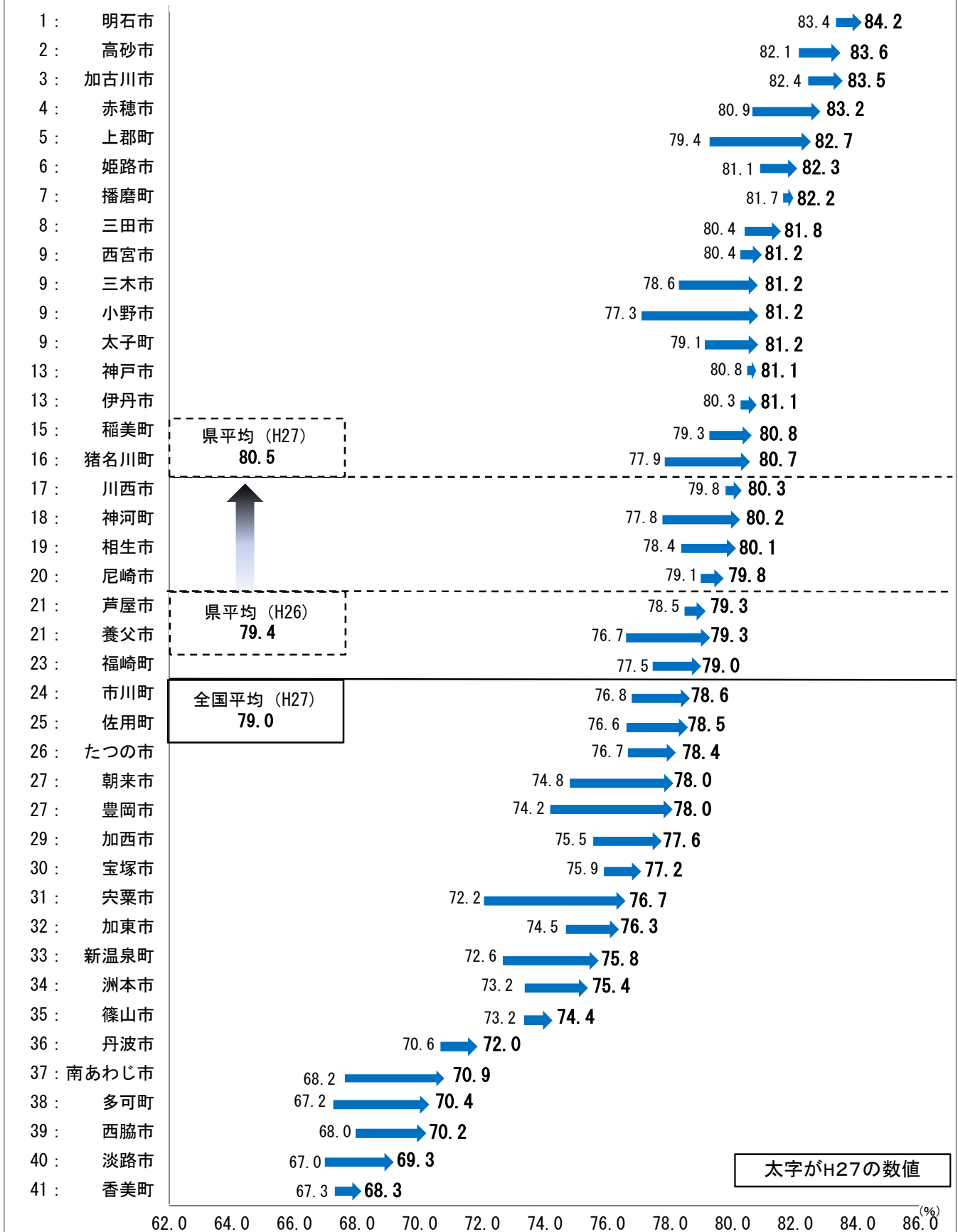
■前年度から比率が減少したのは5団体、徴収率が増加したのは35団体。
 ■最も増加したのは西脇市(3.6%)、最も減少したのは市川町(▲0.8%)。



特別徴収実施率の対前年度比較

【資料11】

■前年度からの比率は、41団体すべてで増加した。
 ■最も増加したのは宍粟市(4.5%)。

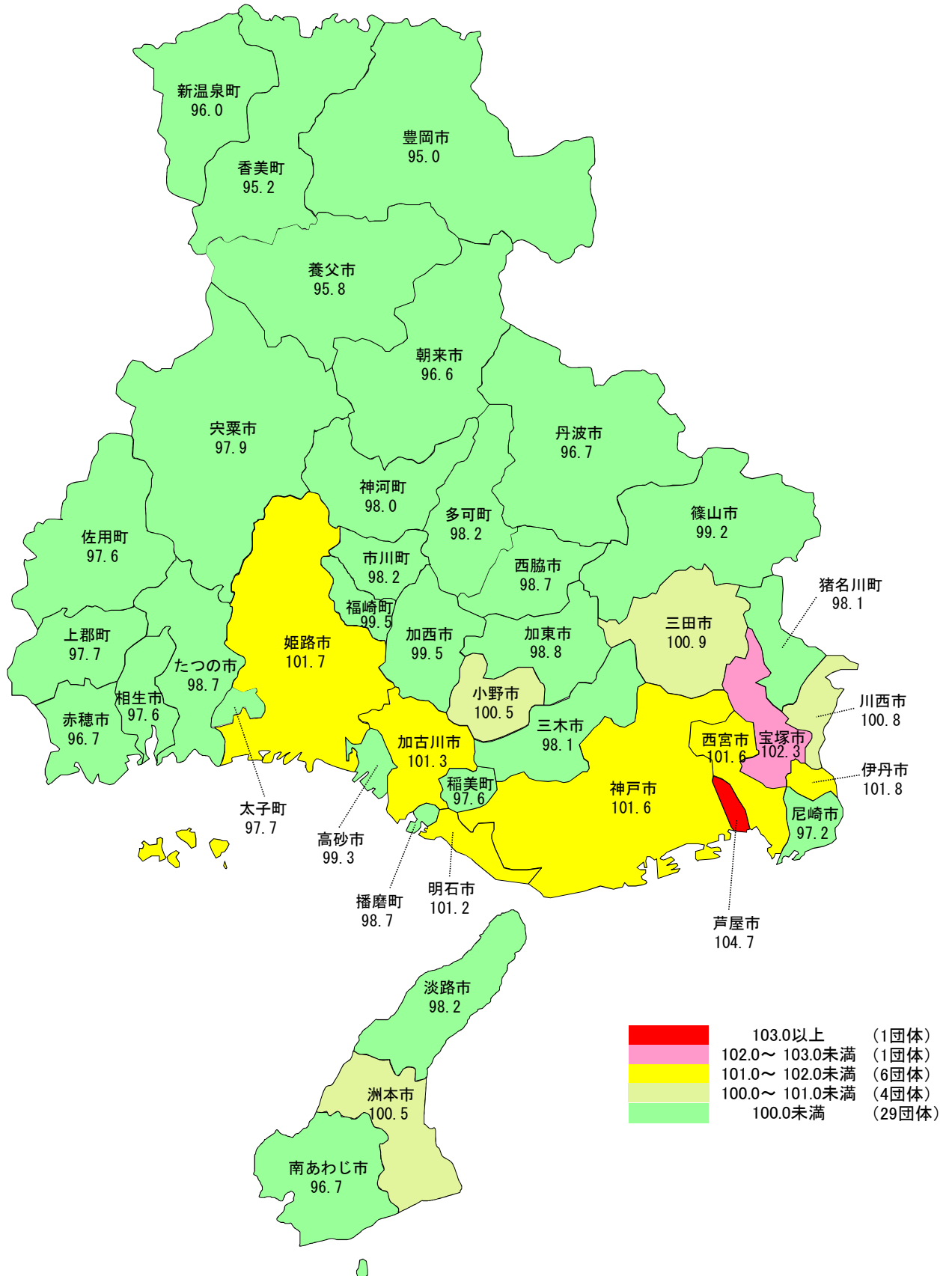


太字がH27の数値

※特別徴収実施率＝給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数／給与所得者の納税義務者数

平成27年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況(H27.4.1)

○ラスパイレス指数※が100.0以上の団体は、芦屋市(104.7)、宝塚市(102.3)など12市。
 ○ラスパイレス指数が100.0未満の団体は豊岡市(95.0)など29市町。

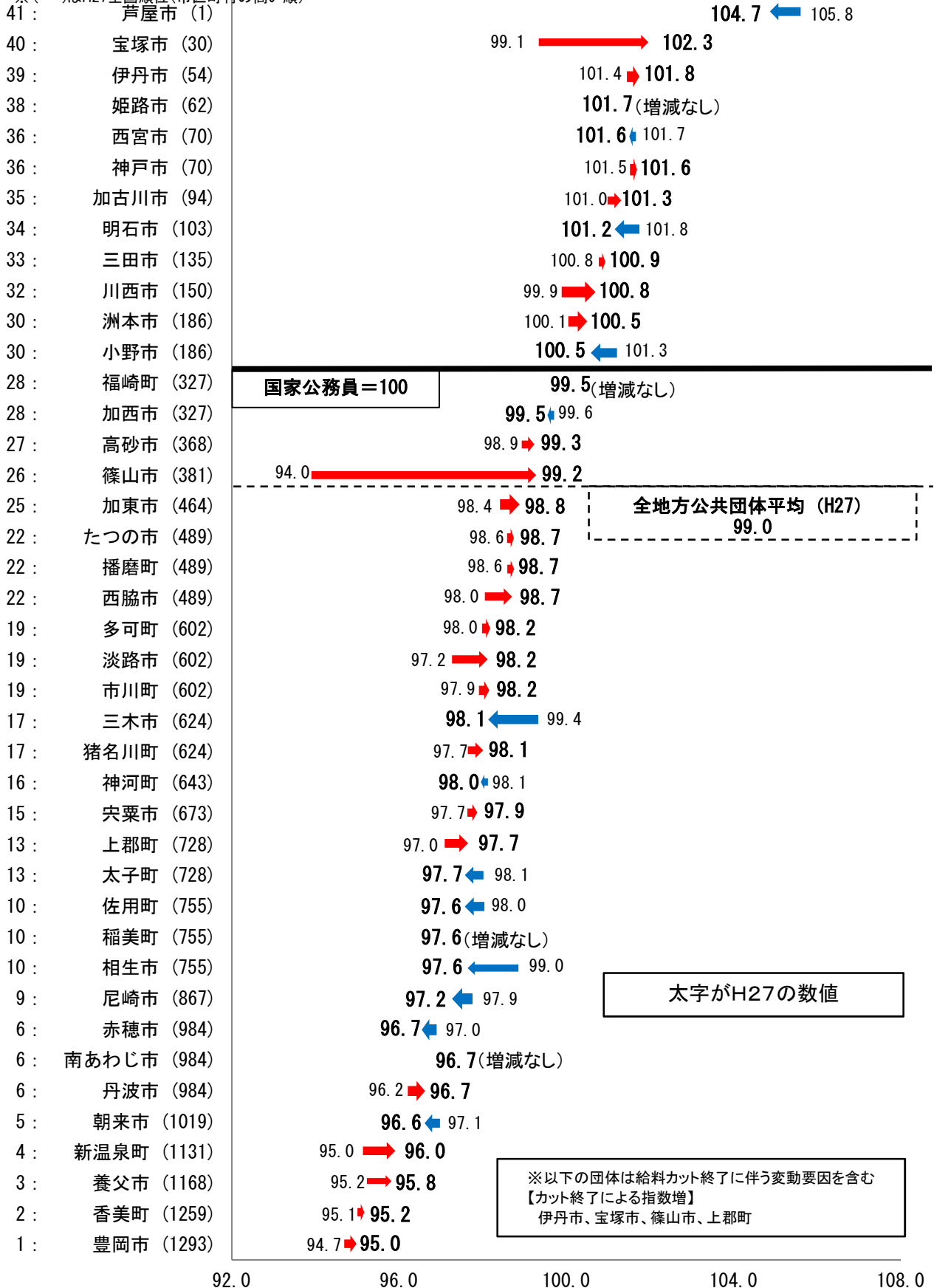


※ラスパイレス指数: 国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

ラスパイレス指数の対前年度比較

- 前年度から指数が減少したのは13団体、増加したのは24団体。
- 100を上回る団体は、前年度の10団体から12団体に2団体増加。
- 最も増加したのは篠山市(5. 2)、最も減少したのは相生市(▲1. 4)。

※()はH27全国順位(市区町村の高い順)



平成28年9月
兵庫県企画県民部企画財政局 市町振興課作成

